

学習指導要領		都立晴海総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。</p> <p>自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p> <p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p> <p>(2) 人間としての在り方生き方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二の誕生、周辺人、モラトリアム、アイデンティティの確立といった概念を理解し、青年期の課題について考察する。 ・青年期における自我のめざめについて理解し、自分自身の心理についての考察を深め、自らの心を守る防衛機制の働きについて理解する。 ・アイデンティティを確立するためには、自分らしい生き方を求める個性化と、集団や社会に適応する社会化とを調和させ、友人や家族など身近な人間関係だけでなく、広い視野に立って他者と共に生きることが重要であることを理解する。 ・哲学の問いに取り組み、自己のあり方をとらえ直すことを通じ、人間の営みについて、よく生きることについて思索する。 ・神話的世界観から脱し、自然や人間の本質を追求した古代ギリシアの代表的先哲とその思想について理解し、人生や現代社会を生きる人間について考察する。 ・一神教の特徴やその歴史的展開について理解するとともに、信仰や思想について考察する。 ・イエスの言行からユダヤ教、キリスト教についての理解を深めるとともに、世界宗教として広がるキリスト教の普遍的な精神について考察する。 ・聖俗一致を基本とするイスラム教の特徴やムスリムの生活について理解する。 ・ウパニシャッドの思想とブッダの説いた苦や煩悩などのとらえ方、涅槃に至る方法について理解する。 ・儒家の思想や老荘思想をはじめとする諸子百家の代表的な思想の比較等を通じて、アジアの道德観と統治の思想について、考察できる。 ・古代日本人の多神教的な宗教観や、モンスーン気候を背景に形成されてきた自然観について理解する。 ・どのようにわが国で仏教思想が展開したかについて思想や信仰に着目して独自に発展した仏教の各宗派の特徴的な考え方やわが国の仏教文化を理解する。 	

学習指導要領		都立晴海総合高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>(3) 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>ア 現代に生きる人間の倫理</p> <p>人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p> <p>イ 現代の諸課題と倫理</p> <p>生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代における儒学の定着と発展に着目し、朱子学や陽明学、古学、国学等を踏まえて、わが国で独自に発展した思想や精神の特徴について理解する。 ・わが国における近代化について、西洋文化の受容に着目し、日本の思想家たちの模索や主張について考察する。 ・近代科学の成立と近代科学の方法を導いた西洋的な自然観や合理的精神について理解し、理性のとらえ方に着目して考察する。 ・カントの認識論と道徳論を通じて、抽象的に展開される哲学の議論を1つずつ丁寧に整理して理解する。 ・近代市民社会の発展に伴って生じた諸課題に対して、功利主義や社会主義の思想家たちがどのような視点で解決を目指したかを参考に、現代の市民社会について考察する。 ・実存主義の考え方を踏まえ、自己の生き方を自ら選択し決断する、主体的な人間の在り方について考察する。 ・生命にかかわる技術の進歩によって生じている新たな課題を多面的に捉えるとともに、生命観や死生観をとらえ直す。 ・民主主義や自由主義経済と自由や平等について、社会契約の思想を踏まえて、公正さについてロールズの正義論を理解し、現代社会に生きる人間の倫理について考察する。 	